

ジュニア賞

高齢者に優しくなれるゲーム

中谷 明彦 (高校3年生:東京都)

生活に困っている高齢者の方々を我々若い世代が積極的に助けたいと感じた。

このゲームは、最初 20 代の元気な人 (プレイヤー) が「階段を上る」「荷物を運ぶ」など、普段の生活でしている事をゲーム形式で行っていく。そのゲームをクリアすると、次のステージでプレイヤーは歳をとり、同じゲームをする。しかし人は歳をとると、体力や筋力が落ちたりするので、ゲームの難易度が上がる。そして 40 代、50 代、60 代…とゲームがどんどん難しくなっていくことで、プレイヤーは「若い時当たり前のように出来ていたことが、歳をとると大変になる」という事を実感する。また、ゲームの途中、稀に元気な若者が出てきて、プレイヤーを助ける事がある。ここで「若者の助けで、高齢者はとても楽になる」という事も実感する。このゲームを通して、プレイヤーが高齢者の気持ちを少しでも理解できれば、高齢者に手を差し伸べられる人になれるのではないかと考えた。